

目標値見直しの方向性

- 1 目標値の見直しの方向性
- 2 目標指標の見直しの方向性
- 3 御議論いただきたい点

1 目標値の見直しの方向性

- 一般廃棄物（事業系ごみ） の1人1日当たりの排出量、産業廃棄物リサイクル率及び事業系食品ロス量はR12年度目標値達成：上方修正
- 上記以外の目標値はR12年度目標値未達成：目標値据え置き

項 目		現行計画					目標値の見直しの方向性
		H30年度 計画基準年 実績値	R5年度 最新実績値	R5暫定 目標値 ※1	暫定目標値 達成状況 ※2	R12年度 目標値	
一般 廃棄物	1人1日当たりの 排出量 (g/人・日)	982	923	952 以下	○	910	-
	生活系ごみ	678	645	657 以下	○	625	据え置き
	事業系ごみ	304	278	295 以下	◎	285	上方修正
	リサイクル率(%)	25.5	22.6	27.4 以上	×	30.0	据え置き
	最終処分率(%)	11.6	11.3	11.1 以下	△	10.5	据え置き
産業 廃棄物	排出量(千 t)	10,962	10,468	10,561 以下	○	10,000	据え置き
	リサイクル率(%)	35.6	36.3	35.0 以上	◎	35.0	上方修正
	最終処分率(%)	1.7	1.3	1.4 以下	○	1.0	据え置き

項 目		現行計画					目標値の見直しの方向性
		R1年度 計画基準年 実績値	R4年度 最新実績値	R4暫定 目標値 ※1	暫定目標値 達成状況 ※2	R12年度 目標値	
食品ロス	食品ロス量合計(万t)	8.8	7.7	8.3	○	7.0	-
	家庭系食品ロス量	4.5	4.0	4.1	○	3.2	据え置き
	事業系食品ロス量	4.3	3.8	4.2	◎	3.8	上方修正

※1 暫定目標値は、計画基準年度の実績を基準にR12目標値までの均等割で算出

※2 ◎：目標値(R12)達成

○：暫定目標値 (R5/R4) 達成

△：暫定目標値 (R5/R4) 未達成だが計画基準年度より改善

×

2 目標指標の見直しの方向性

- 現計画では、実施する取組ごとに「目標指標」を設定しているが、アウトプット指標とアウトカム指標が混在している状況。
- また、目標指標が設定されていない取組があるほか、指標数も多い（28指標）。
- 中間見直しでは、重点分野（4つの柱）の進行状況を表す「進行管理指標」に変更した上で、可能な限りアウトカム指標を設定する。

現行計画

基本理念
目標値

基本方針

- 1 全ての主体の行動の促進
- 2 循環資源の3R推進
- 3 循環型社会を支える基盤の充実
- 4 廃棄物の適正処理

【課題と取組】

- 第1 廃棄物の発生抑制及び循環資源の更なる推進
- 第2 循環分野における基盤整備
- 第3 適正処理の更なる推進
- 第4 大規模災害への対応

→ **取組の目標指標**

見直し

第3期中間見直し

基本理念
目標値

施策の方向性（4つの柱）

- 【柱1】循環経済（サーキュラーエコノミー）の推進
【柱2】プラスチックの資源循環
【柱3】食品ロスの削減
【柱4】廃棄物の適正処理

→ **施策（柱）の進行管理指標**

【取組】

- 第1節 循環経済の推進によるライフサイクル全体での徹底的な資源循環
- 第2節 プラスチックの3R+Renewableの推進
- 第3節 食品ロスの削減対策の推進（食ロス計画）
- 第4節 廃棄物の適正処理体制の確立（広域化計画）

基本方針

主な目標指標

全ての主体の行動の促進

環境産業コーディネーター年間訪問企業延べ数
県民1人1日当たりの焼却ごみ中のちゅう芥類量
レジ袋辞退率等 目標指標計4

循環資源の3R推進

みやぎ産業廃棄物3R等推進事業の採択件数
（一般廃棄物）プラスチック類の再資源化率
（一般廃棄物）紙の再資源化率等 目標指標計9

循環型社会を支える基盤の充実

「こども環境教育出前講座」実施学校数
市町村における家電リサイクル制度による回収量
目標指標計12

廃棄物の適正処理

県内の10t以上の不法投棄件数及び量
家電不法投棄の台数等 目標指標計3

計28指標
※次頁参照

見直し

施策の方向性（4つの柱）

施策（柱）の進行管理指標案

循環経済（サーキュラーエコノミー）の推進

- ① 入口側の循環利用率【新規・国第五次計画】
- ② 出口側の循環利用率【新規・国第五次計画】
- ③ 1人1日当たりごみ焼却量【新規・国第五次計画】

プラスチックの資源循環の推進

- ① 一般廃棄物プラスチックのリサイクル率【現行計画】
- ② 一般廃棄物における製品プラ分別回収に取り組む市町村数【現行計画】

食品ロスの削減

- ① 未利用食品の利活用率【現行計画】
- ② 焼却ごみ中のちゅう芥類量【現行計画】

廃棄物の適正処理

- ① 県内の10t以上の不法投棄件数及び量【現行計画】
- ② 広域処理ブロック数【旧ごみ処理広域化計画】

計9指標 2

2 目標指標の見直しの方向性

➤ 【参考】現行計画の目標指標一覧

課題と取組	第3期計画における目標指標	目標値 (R12年度)	実績値 (R5年度)
第1 廃棄物の発生抑制及び資源循環の更なる推進	環境産業コーディネーター年間訪問延べ数	600件	459件
	みやぎ産業廃棄物3R等推進事業(設備整備)の採択件数	140件	22件(計画期間中累計)
	みやぎ産業廃棄物3R等推進事業(研究開発)の採択件数	90件	17件(計画期間中累計)
	一般廃棄物多量排出事業者の指導のための規程を整備している市町村数	35(全市町村)	16
	レジ袋辞退率	85%	85.2%
	(一般廃棄物)プラスチック類の再資源化率	25%	26.8%
	(一般廃棄物)紙の再資源化率	35%	35.4%
	宮城県グリーン製品の認定を受けた事業所数	80事業所	66事業所
	宮城県グリーン製品の認定数	130製品	107製品
	グリーン購入に組織的に取り組んでいる市町村数	35(全市町村)	8
	未利用食品の利活用量	130t	666t
	動植物性残さの最終処分率	1%	5.1%
	県民1人1日当たりの焼却ごみ中のちゅう芥類量	90g/人・日	115g/人・日
	県民1人1日当たりの焼却ごみ中のちゅう芥類量	90g/人・日	115g/人・日
第2 循環分野における基盤整備	市町村における小型家電リサイクル制度による回収量	400g/人・年	86g/人・年
	がれき類(アスファルト・コンクリート塊)の再資源化率	99%	98.6%
	がれき類(コンクリート塊)の再資源化率	99%	99.0%
	木くず(建設発生木材)の再資源化・縮減率	97%	98.9%
	容器包装全品目の分別収集の実施市町村数(独自回収を含む)	35(全市町村)	31
	その他プラスチック製容器包装の分別収集の完全実施市町村数(独自処理を含む)	35(全市町村)	7
	下水汚泥最終処分率(脱水汚泥ベース)	0%	9.3%
	家畜排せつ物処理施設の機能保全計画策定施設数	15	4(計画期間中累計)
	「こども環境教育出前講座」実施学校数	40校/年	56校/年
	教育研究機関の行う循環型社会形成に関する公開講座等の受講者数(人/講座)	35人/講座	17人/講座
	県の機関における3Rに資する試験研究件数(産業廃棄物税基金を用いた試験研究件数)	8件	19件(計画期間中累計)
	県の機関における3Rに資する技術開発件数 (県成果情報誌「普及に移す技術」への掲載件数及び学会、研究会、論文発表件数)	6件	9件(計画期間中累計)
	県内の10t以上の不法投棄件数及び量(仙台市含む)	0件	0件,0t
	家電不法投棄の台数	0台	481台
第3 適正処理の更なる推進	保管PCB廃棄物の未処理台数	0台	3210台

3 御議論いただきたい点

(1) 目標値の在り方について

- 「一般廃棄物（事業系ごみ）の1人1日当たりの排出量」、「産業廃棄物のリサイクル率」及び「事業系食品ロス量」については、計画最終年となるR12年度目標値を既に達成していることから、専門委員の御意見を踏まえて、原則、目標値を上方修正※する。

※具体的な目標値は、第2回専門委員会議において提示。

- 上記以外の目標値は、R12年度目標値を達成していないため、目標値を据え置く。

なお、「一般廃棄物のリサイクル率」については、現行の調査方法の見直し（民間リサイクル量の調査など）を含めて、より精緻な実態把握を進めることとし、目標値は据え置くこととしたい。

(2) 目標指標の見直しについて

- 現行計画の「目標指標（28指標）」を見直し、施策の方向性（4つの柱）について、各施策を進行管理するための指標（9指標）を新たに設定する。